

令和6事業年度決算の概要について

国立大学法人山梨大学の令和6事業年度財務諸表等の決算関係資料が文部科学大臣より承認されましたので、大学の財政状態や運営状況を広く知っていただくため、ここに公表いたします。

わが国は、経済を中心とする急速なグローバル化や少子高齢化といった急激な社会環境の変化が惹起した解決困難な種々の課題に当面しており、本学は、国民が当面する課題を克服し、わが国が持続的に繁栄できるよう、教育、研究、社会貢献機関としての本来の使命を果たす責務を負っています。この責務を果たすためには、本学の教育・研究機能を一層強化することが必要です。このため、自ら点検・評価を行うとともに、社会からの声を広く求め、以下のように教育・研究改革を推進しています。

第4期中期目標期間の3年目である令和6年度は、第4期中期目標・中期計画の達成に向け、各種取組をますます加速させています。

主なものとして、教育面では、令和7年度からの全学共通教育改革に向け、履修規程の作成や授業科目の再編、新設等を行いました。また、令和6年度をもって工学部が創立100周年を迎えたことから、新たな節目として、7学科から1学科複数コースへの再編等、学部体制の改組を行いました。さらに、記念事業の一環として記念式典を挙行し、本学卒業生の大村智特別荣誉博士による講演会等を行いました。

研究面では、最先端の研究を加速させ、国内外の社会解決、スタートアップや新産業の創出等のイノベーションに結びつけるため、クリーンエネルギー及び先端脳科学分野における研究拠点施設の整備を実施しました。また、微生物資源を活用した創薬研究による人類の健康・福祉への貢献を目指し、北里大学と連携した研究組織「大村記念微生物資源研究フロウティラ」を設立しました。

医学部附属病院では、夜間や休日における山梨県全域の初期救急医療のニーズに応えるべく、山梨県の委託を受け、令和6年5月から初期救急医療センターを開設しました。

本学は今後も中期目標・中期計画の達成に向け、厳しい財政状況の中、外部資金の獲得等自己収入の確保を図りながら、一層の経費節減や事業の見直し・効率化等を継続して進め、教育・研究活動の更なる充実・発展に努めるとともに、その成果を活かした社会貢献を進めてまいります。

公表にあたり、ご支援いただいた関係各機関や地域の皆様に改めて感謝申し上げますとともに、本学が今後も「地域の中核を担う人材、世界で活躍する人材」の養成を通し、社会の発展に寄与することができますよう、引続きのご支援をお願い申し上げます。

国立大学法人山梨大学 学長 中 村 和 彦